

第 1 版

古仁屋高校寮内における新型コロナウイルス対応ガイドライン

鹿児島県 瀬戸内町
古仁屋高校活性化対策室

2020年8月1日

1 具体的な感染防止対策

(1) 留意すべき基本原則と各エリア・場面の共通事項

①留意すべき基本原則

- ・職員（関係者）及び寮生同士の接触をできるだけ避け、対人距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保する。
 - ・共有スペース、大浴場、食堂等多くの寮生が同時に利用する場所での感染防止
 - ・入口及び施設内の手指の消毒設備の設置
 - ・マスクの着用（職員（関係者）及び寮生に対する周知）
 - ・施設及び寮室の換気
 - ・施設内の定期的な消毒
 - ・コーディネーター、寮監、調理員及び寮生への定期的な手洗い・消毒の要請
 - ・職員（関係者）及び寮生の毎日の体温測定、健康チェック
- ※職員（関係者）とは：コーディネーター、寮監、調理員及び担当職員をいう。

②各エリア・場面の共通事項

- ・他人と共用する物品や手が頻繁に触れる箇所を工夫して最低限にする。
- ・複数の人の手が触れる場所を定期的に消毒する。
- ・手や口が触れるようなもの（コップ、箸など）は、適切に洗浄及び消毒する又は使い捨てにするなど特段の対応を図る。
- ・人と人が対面する場所は、距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を保つ又はアクリル板・透明ビニールカーテンなどで飛沫感染を防止する。
- ・ユニフォームや衣服はこまめに洗濯する。
- ・手洗いや手指消毒の徹底を図る。
- ・寮生や職員（関係者）がいつでも使えるようにアルコール液等を施設内に設置
- ・寮生や職員（関係者）の中に無症状感染者がいる可能性があることを踏まえて、感染防止策を取る。
- ・送迎バスの場合は、密集しないよう人数を制限して運行すること。

(2) 各エリアごとの留意点

①入寮時（ロビー等）

- ・新型コロナウイルスに関しては、発症していない人からの感染もあると考えられるが、発熱や軽度であっても咳・咽頭痛、倦怠感などの症状がある人は申し出るように呼びかける。寮生から申し出があった場合は、同意を得た上で、速やかに保健所へ連絡しその指示に従う。
- ・なお、万が一感染した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、寮生を適正に管理する。
- ・入口及びロビー内に手指の消毒設備（アルコール液等）を設置する。
- ・入寮の際に手指の消毒を要請する。

②送迎時

- ・送迎車による送迎については、座席数の 1/3 の定員に留め、人と人の距離を十分に確保し、ピストン輸送を行うこと。
- ・換気をこまめに行うこと。

③寮室

(部屋のドアの開閉)

- ・ドアノブの清拭消毒
- ・部屋内の清潔感を保つ

④大浴場

- ・浴槽を使用する場合は、紫雲寮は 2 名以内、清雲寮は 1 名以内とする。
- (更衣室)
- ・ドアノブ等の清拭消毒
- (浴室内)
- ・備品等の清拭消毒
 - ・浴室内の換気強化
 - ・浴室、浴槽内における対人距離の確保の要請
 - ・浴室、浴槽内における会話を控えることを要請 等

⑤食事関係

(食堂)

- ・食堂へのアクリル板設置、人数制限、滞在期間の制限、席の間隔に留意
- ・職員（関係者）のマスク着用
- ・寮生に食事開始までマスク着用の要請（おしゃべりは控えめに）
- ・発熱、咳、風邪症状のある人は入室禁止とし、自分の部屋で食事を取ること
- ・食堂へ入る前に手洗い及び手指消毒の徹底
- ・横並び着席の推奨、テーブルの間隔を広げる
- ・食堂の換気強化
- ・寮生と職員（関係者）の接触は極力減らす。

(部屋食)

- ・運搬用機器の手に触れる部分の清拭消毒（食器は使い捨てを使用すること）
- ・使い捨て食器の処理は、各自部屋でビニール袋で密閉し処理すること。

⑥清掃等の作業

(寮室清掃)

- ・清掃時のマスクの着用
- ・ゴミはビニール袋で密閉して処理

(浴槽清掃)

- 浴室内の設備・備品を清拭消毒
- 清掃時に換気し、完全に空気を入れ替える
- 脱衣室内の設備・備品を清拭消毒
- 浴槽水等の消毒の徹底

(館内清掃)

- 市販されている界面活性剤含有の洗浄剤や漂白剤を用いて清掃する。
- 通常の清掃後に不特定多数が触れる環境表面を始業前、始業後に清拭消毒することが重要であり、ドアノブや階段の手すり、共有スペースにある備品等を定期的にアルコール液等で拭く。
- 手が触れることがない床や壁は通常の清掃でよい。

⑦トイレ（※感染リスクが比較的高いと考えられるため留意する）

- 便器内は通常の清掃で良い。
- 不特定多数が接触する場所は、清拭消毒を行う。
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- 個人用にタオルを準備する。共通のタオルは禁止する。
- 手洗いの徹底
- 常時換気をオンにしておくなど換気に留意

⑧コーディネーター及び寮監部屋

- 共有する物品（テーブル、いす、パソコン等）は定期的に消毒する。
- コーディネーター及び寮監が使用する際は、入退室の前後に手洗いをする。

(3) 寮生の感染疑いの際の対応

- 万一、発熱や呼吸困難、倦怠感など感染の疑いのある寮生は、自分の部屋内で待機しマスク着用をさせる。また、外に出ないようにさせる。
- 事前に他の寮生と区分して待機する部屋（ゲストルーム）を決めておく。
- 食事も寮室に届け、他の寮生との接触を避ける。その寮生と対応するスタッフも限定する。また、対応時にはマスクを着用する。
- 保健所に連絡し、感染の疑いのある寮生の状況や症状を伝え、その後は保健所からの指示に従う。
- 当日の職員（関係者）及び寮生名簿を確認し、保健所への提出に備える。
- 寮内の他の職員（関係者）及び寮生や学校への情報提供は保健所の指示に従う。

保健所の連絡先 0997-52-5411

医療機関の連絡先 瀬戸内徳洲会病院（0997-73-1111）、へき地診療所（0997-72-3211）
いづはら医院（0997-72-3307）、南大島診療所（0997-72-0107）